

「わくわく(温泉・歴史・産業・自然 etc)を探せ」る町・さつま町に弾薬庫はいいません！ 弾薬庫建設計画が進んでいます！

2023年12月、突然「さつま町に弾薬庫建設計画」が進んでいることが新聞情報で明らかになりました。

町民には寝耳に水の出来事です。弾薬庫はどんな施設なのでしょうか。なぜさつま町に建設するのでしょうか。



★弾薬庫・ミサイル基地・通信施設などは「有事」の際、最初に攻撃の対象になる危険な施設です。★

「突然」だったのか？…実は

2017年 個人、次にさつま町商工会議所が「防衛施設誘致請願書」を町議会に提出

2018年 町議会は請願を全会一致で採択

→さつま町は請願書を防衛省などに提出（10回）

2023年12月19日 九州防衛局が町長を訪問 翌日の新聞で住民の多くが「誘致活動」を知る

「住民は知らないでいい」？

町は「広報で報告している」と言っていますが、わたしたちの質問に対し「このような要望活動を行っていることを町民はほとんど知らない」と町民が知らないことを認めています。

※町民が知らないままに弾薬庫を作りたいのでしょうか？！

弾薬庫だけではない！一町が防衛省に要請した施設（さつま町が防衛省に出した請願書より）

①野外訓練場：実弾訓練・野外狙撃訓練場等町内で実弾訓練が実施される？

②中距離弾道ミサイル部隊・広域監視、電子専門部隊：ミサイルを発射する基地に？

③総合防衛施設一レーダー等

④多目的機能用地：V22等の発着場

V22は屋久島沖で墜落した「オスプレイ」のこと

欠陥機オスプレイがさつま町の上空を飛び回ることになります。

弾薬庫＝武器で平和は築けない！

北薩ブロック平和運動センター



なぜさつま町に弾薬庫？

防衛省は現在所有している 1400 棟に加え、新たに 130 棟増設するとしています。

さつま町は「川内と鹿屋との利便性がいい」と言う理由です。

弾薬（ミサイル）は

川内港 → グリーンロード → さつま町弾薬庫

さつま町弾薬庫 → 北薩横断道路 → 高速道路 → 鹿屋基地へ
→ グリーンロード → 川内駐屯地へ

鹿屋基地・川内駐屯地がミサイル基地へ？

= 攻撃される対象になってしまいます。

※川内駐屯地の西方 10 km には川内原発があります。

川内駐屯地が攻撃されると誤って原発が破壊される危険があります。

川内港は「特定利用港湾」として、軍事利用用に整備されることになりました。

弾薬庫の危険 事故・水質汚染

福岡県北九州市の山田弾薬庫では、火薬庫が大爆発を起こし、わらび採りや燃料の薪として使う弾薬箱を取りに敷地に入っていた住民 62 名が犠牲となったほか、多くの負傷者が出るという悲惨な事故がありました。

東広島市では、飲み水用の井戸から人体に有毒な有機フッ素化合物（総称 PFAS=ピーフアス・発がん物質）が検出されています。



わたしたちの力で！

今後どうなるのか？さつま町のだけでなく、近隣市町村・鹿児島県全体の問題です。安心・安全な毎日の生活を守るために、一緒に声を出していきましょう！

徹底した外交によって平和を！

北薩ブロック平和運動センター



＜地質調査がすすむ
さつま町中岳＞

住民の不安をよそに防衛省は地質調査を進めています。

また、弾薬庫建設されると中岳周辺はどうなるのか、全く説明がありません。

＜進む軍事化のねらい＞

現在九州・南西諸島（琉球弧）で軍事基地化が進んでいます。

元自衛隊の幕僚長は「米国が南シナ海や東シナ海で中国と軍事衝突した場合に米軍が米領グアムまで一時移動し、沖縄から台湾、フィリピンを結ぶ軍事戦略上の海上ライン『第1列島線』の防衛を同盟国（日本など）に委ねる案が検討されている」といっています。

米国と中国との戦争に、九州・南西諸島が巻き込まれ、住民が犠牲になってしまいま

